

令和5年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

32

福岡県立水産高等学校

自己評価 学校運営計画(4月)
Table with columns: 学校運営方針, 昨年度の成果と課題, 年度重点目標, 具体的目標, 評価(総合)

学校関係者評価
Table with columns: 評価(総合), 自己評価は (A:適切である, B:概ね適切である, C:やや適切である, D:不適切である)

Table with columns: 評価項目, 具体的目標, 具体的方策, 評価(3月), 次年度の主な課題

Table with columns: 項目ごとの評価, 学校関係者評価委員会からの意見

第1学年	基本的な生活習慣の確立を図る	欠席・遅刻・早退を減らすため体調管理を徹底させる。 挨拶、返事を徹底する。 家庭との連絡を徹底する。				
	次年度に向けて基礎学力の定着を図る	中学校の学び直しをする。 朝学習を有効活用する。 提出物を徹底させる。				
第2学年	進路先決定に向けた支援	進路が未確定の生徒に対し、相談し、進路先を決める。 進路先の情報提供を積極的に行い、選択肢を広げる。 会社見学など積極的に取り入れる。				
	人間力の育成	基本的な生活習慣の確立。 礼儀、作法の指導を徹底する。 コミュニケーション能力の育成を図る。				
第3学年	進路指導の充実	進路に対する興味・意欲を喚起するため、卒業生の進路の話積極的に取り入れ、進路情報を提供する。 進路指導室を活用させ、進路に対する意識を持たせる。 年内、進路決定100%を目指す。				
	学年団との連携	遅刻、欠席者及び気になる生徒の保護者、担任団と緊密に連絡を取り合う。 早い段階で家庭訪問を行い、家庭での様子を伺い、連携を行う。 1年後の進路実現を目指し、忍耐力を持たせる指導を行っていく。				
海洋科 航海コース	将来の船員として必要な力を向上させる	海技士国家試験(筆記)合格者を複数出す。 乗船前指導、乗船後の指導を継続して行うことにより乗船実習を充実させるものとする。 海友丸、2県との連携を密にし、乗船教育の充実をはかる。 船員としての適性を考慮した効果的なコース選択の道筋をつける。				
	3年間を見通し、計画的に希望進路を実現させる	船員への就職率70%以上をめざす。 専門教科を通じて船員として必要な知識・技術及び態度を身に付ける。				
海洋科 機関コース	専門知識・技術の習得 資格取得	教材研究を十分に行い、生徒が興味を抱く内容を盛り込んでいく。 実習内容を見直し、生徒が積極的に取り組み、技術の向上を目指す実習とする。 積極的に資格取得を奨励し、1年間に3つ以上の資格取得を目指す。(3つの資格取得)				
	水産業の技術発展	水産業を魅力とやりがいのある産業として認識させるため、日本の水産業についての教育を推進する。 新しい技術についても学びを怠らず、新しい技術習得に努め、生徒を育てる。 水産業や、海洋産業に貢献できる人材育成。				
海洋科 マリン技術 コース	事故を起こさない知識・技術・体力を身に付けさせる	基本の水泳を徹底的に行い、水中で事故を起こさない人材を育てる。 様々な事故を想定した訓練を行い、セルフレスキュー能力を身に付ける。 実習に臨む態度とパディとの信頼関係を育て、事故を未然に防止する。				
	海を守る意識の育成	水中を観察できる能力を海を守ることにつなげられる知識を身に付けさせる。 地域での海を守る取り組みへ参加し、海とともに生きる意識を育成する。 潜水と自然破壊の関係性について教え、どうすればよいか考えさせる。				
食品流通科	食品に関わる職業人としての資質を身に付ける	総合実習を通して食品を扱う上での衛生感覚を養う 販売実習を通して礼儀、接客マナーを学ぶ 学習への意欲・目標を持たせ、食品に関する知識を習得させる。				
	希望進路の実現	企業と連携し商品化を目指す。 企業見学などを行い、進路意識を高める。 総合実習を通して食品業界の職業観を養う。				
アクアライフ科	社会人・水産人としての資質を身に付けさせる。	挨拶・服装・言葉遣い・時間厳守の指導を徹底する。 命の大切さと安全に対する意識を身に付けさせる。 生物飼育、漁具製作などの体験活動を多く取り入れる。				
	地域との連携	地域と連携した活動を多く取り入れる。(漁業体験・竹林整備等) 地域資源を活用する。(水産・農業・土地・風土 等) イベント等、地域貢献活動に積極的に参加する。				
事務室	予算の効率的な執行を図る。	効果的・効率的な予算執行に努める。 光熱水費の削減に努める。 偏りのない予算執行に努める。				
	生徒及び教職員の安全管理・環境整備に努める。	不良・危険箇所に対し速やかに対応する。 校舎を巡回し、危険防止策を講じ、事故等を未然に防ぐ。 職員間での危険箇所等の情報共有を密に行う。				

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
---


評価項目以外のものに関する意見

--